

■適切で発展的な技術サポートができる中堅成形技術者のための実務講座

# プラスチック成形品の破損トラブル ——事例とその対策

＜機械・材料・成形技術・成形品の破損すべての要素から考える＞

- 具体的な射出成形不良対策事例——現象、原因、その対策／分かりやすい図説・写真によるケーススタディ
- 成形材料を知り、金型を知る。付帯システムを知り、成形機の機構構造、などをトータル的に学べる
- 不良発生メカニズムを知り、不良を発生させない——製品設計の段階から最終の量産成形加工までをイメージしたモノづくりの留意点
- 破損トラブルからみた事例と対策

\*不良を発生させないためには、製品設計の段階から最終の量産成形加工までをイメージしたモノづくりをすることが肝要。豊富な事例研究において、樹脂、製品設計技術、金型設計・製作技術、付帯システム技術のトータル的な生産システム技術を分かりやすく解説。

- ・開催日時 2019年10月10日（木）10時30分～17時00分
- ・会場 きゅりあん（4階第2特別講習室）東京都品川区東大井5-18-1
- ・参加費 正会員（個人・法人）29,600円 一般（会員外）34,600円（いずれもテキスト、資料及び昼食代を含む）

■講師および講義内容

担当講師	講義内容
2019年10月10日（木） 10時30分～16時30分  長野県工業技術総合センター 材料技術部門 材料化学部長 藤沢 健氏	<p>1. 破壊の原因となる成形材料の物性——破壊要因別に見る破損トラブル事例</p> <p>（1）プラスチックは絶対壊れない？</p> <p>（2）ストレスクラックとソルベントクラック</p> <p>（3）ストレスクラックとソルベントクラックの2大横綱による割れの競演——ポリカーボネート／ABS樹脂／ポリアセタール／フッ素樹脂</p> <p>2. 製造工程ごとに見た破損トラブル</p> <p>——金属からプラスチックに変更したら割れた⇒破損原因の解析、材質の分析</p> <p>（1）材料に起因するもの</p> <p>（2）設計に起因するもの</p> <p>（3）保管、前処理に起因するもの</p> <p>（4）成形条件に起因するもの</p> <p>（5）加工・組み立て条件に起因するもの</p> <p>（6）輸送、保管に起因するもの</p> <p>（7）使用環境に起因するもの</p> <p>3. プラスチックの割れ／チェック項目</p> <p>——なぜトラブルが大きくなってしまいか／破損トラブル発生時の心得</p> <p>* 各種相談例から見た“思い込み”がトラブル原因とその解決を遅らせる！</p> <p>● ソルベントクラック試験を体験する！</p>